



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校 第一回トップリーダー教室が行われました

本校では、全校生徒・保護者の方々及び地域の皆様を対象とした「トップリーダー教室」という講演会を実施しています。社会の一線活躍されている本人のお話をうかがうことにより、自分の今後の生き方や在り方を考え、日本や世界、又は地域社会に尽くす人としての資質の育成を図ること、生徒たちの目的意識や学習意欲を刺激し、学ぶことの意義を考える機会とすることなどを目的としています。

去る七月十三日(金)、今年度の第一回トップリーダー教室が行われました。講師にリクルートキャリア創設者の水谷智之氏をお招きして、「さあ、今日は本当に大切なもの話をするよ!」ウィーと行動、

そして仲間〜という演題でお話をしていただきました。「ウィー」という単語には様々な意味があります。そのなかでも「意思」をもつことの大切さを教えていただきました。また、チームに分かれて「もっと好きなクラス・学校・まちにするためにどうしたらよいか考えてみよう」「全国に自慢できる『楠隼ならではの』を考えてみよう」というお題についてアイデアを出し合いました。生徒たちはいろいろな意見を出し合い、「ウィー」をもつ大切さを実感できたようです。事後の感想からは、「様々な知識や経験、意見をもった集団で意見を出し合うことで多様な意見を取り入れ自分の成長につなげること」、「正解がない中で

一步をふみだす勇気をもつこと」、「失敗を恐れずに失敗から学ぶこと」等々を学んだようでした。これからも「楠隼ならではの」の創出に向けて「ウィー」をもつて取り組んでいきたいと思っております。



高校

ミニフィールドワークで肝付町を探索

七月二十四日(火)に、楠隼高校一年生(五十七名)が「ミニフィールドワーク」を行い肝付町を探索しました。これは楠隼高校の特色あるカリキュラムの一つ、「ことば探究」の一環で、現場に行き、実際に見たり、話を聞いたりすることで「リサーチ能力」を高めることが目的です。肝付町の全面協力の下、A(郷土史跡:お城コース)B(産業:まちなみコース)C(農業:みのりコース)の三コースに分かれて学びました。

Aコースでは「高山城」「四十九所神社」を回り、「流鏑馬」の意義を理解し、麓や野町など、肝付氏の時代の町並みについても知りました。Bコースでは「福原菓子店」「米

沢食堂」「原田印刷」「シエスタ」を訪問し、肝付町ならではのお土産やお菓子といった物産品を通して、一つ一つの商品に込められた生産者の思いを理解し、また職人さんからは少なくなった活版印刷の技術を実際に体験させて頂きました。Cコースでは肝付町の農業の特徴や最新の農業機械についてまで、現場で働く方からお話をいただきました。

生徒たちはミニフィールドワークを通して、肝付町のことについて見聞を広めただけでなく、肝付町の諸先輩方の生き様に直に触れることで、「自分探しの貴重な体験を積むことができました。



塞神碑の由来



活版印刷の技術体験



Siestaのチーズケーキが出来るまで